

当面の重要事項

チャレンジを阻む岩盤規制を打ち破る

平成 29 年 9 月 11 日
規制改革推進会議決定

年内を目途に解決の道筋を示すべき重要事項

1. 待機児童解消のための「子育て安心プラン」実現に向けた保育制度の見直し
今度こそ待機児童問題に終止符を打つために自治体の取組を促す制度改革、自治体の保育に関する情報開示の充実のほか、社会全体で保育を支える仕組みづくり
2. 技術革新や新需要への機動的対応に向けた電波割当制度の改革
官民の電波利用状況に関する情報開示の充実、電波利用料体系の再設計など、より有効に電波を利用する者に対し機動的に再配分するためのルールづくり
3. 林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の実現のための改革
小規模・零細で管理経営困難な森林所有者が多い中、意欲のある持続的な林業経営者に集積・集約化する仕組みづくり

第 2 期（今後 1 年）において改革を進めるべき重要事項

1. 農業・水産業の成長産業化に向けた改革の徹底
資源の管理と有効活用による成長産業化、卸売市場など流通構造の点検、協同組合等の機能の点検・改革進捗のフォローアップ など
2. Society5.0 に向けた医療の実現
遠隔診療・服薬指導及びこれに伴う医薬品の配送などトータルな遠隔医療をはじめ、ICT を全面的に活用した医療の実現 など
3. 日本でのキャリア形成を目指す若手外国人材の雇用環境整備
国境を超えたキャリアパスを望む留学生などの在留資格の在り方の検証 など
4. 官民データ活用と電子政府化の徹底
マイナンバーの徹底活用、登記簿などの公的情報基盤の総点検 など
5. インバウンド支援、オリ・パラ成功への規制改革
利用者ニーズに応える新たなタクシー等の移送サービス実現、屋外広告規制の見直し など
6. 行政手続コストの削減目標達成に向けた強力な計画遂行
2020 年までに行政手続コストを 20% 以上削減するため、各省が作成した基本計画を点検し、深堀・連携を徹底
7. フォローアップの強化
これまで取り組んできた規制改革について、着実かつ効果的に実行されるようフォローアップを徹底